

麦栽培情報 12月号

令和2年11月19日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

【小麦】

1 播種

収量安定のため適期内(11月20日～30日)の播種を心がけます。播種が適期より遅れる場合は、生育量を確保するため、播種量を基準より2割程度増やして播種します。播種晩限は12月15日です。

2 雑草防除

播種後は、速やかに土壌処理剤を散布します。播種後の降雨等で散布時期を逸しないよう注意します。その後発生する雑草に対しては、下記の表を参考に茎葉処理剤を散布します。散布時期が遅れると効果が低下するため、適期を逃さずに散布することが重要です。

農薬名	適用雑草	使用時期	使用量
ハーモニー細粒剤F	スズメノテッポウ 一年生広葉雑草	播種後～麦3葉期まで (雑草発生前～発生始期)	4～5kg
ハーモニー75DF水和剤	スズメノテッポウ 一年生広葉雑草	播種後～節間伸長前まで	5～10g (水100L)
	一年生広葉雑草	節間伸長開始期 ～穂ばらみ期まで (収穫45日前まで)	3～10g (水100L)
エコパートフロアブル	一年生広葉雑草 ヤエムグラ	節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期)	50～100ml (水100L)
アクチノール乳剤	一年生広葉雑草 カラスノエンドウ	穂ばらみ期まで (雑草発生初期)	100～200ml (水70～100L)
バサグラン液剤	一年生広葉雑草 キンポウゲ類	小麦の生育期 (雑草の3～6葉期) (収穫45日前まで)	100～200ml (水70～100L)

※ハーモニー細粒剤Fとハーモニー75DF水和剤は、いずれか1回のみでの使用。

※ハーモニー75DF水和剤は、雑草の発生を確認してから散布します。

※カズノグサを重点的に防除する場合は、麦1葉期～節間伸長前までに、ハーモニー75DF水和剤10g/水100Lを散布します。(散布適期はカズノグサ1～3葉期です)

※ハーモニー75DF水和剤は、一年生広葉雑草を対象とする場合、穂ばらみ期まで使用できます。(節間伸長開始期以降は、スズメノテッポウは適用外のため注意が必要です)

3 排水対策

麦は湿害に弱いため、明渠（周囲溝）や枕地作溝等により、排水対策を徹底しましょう。

※枕地で滞水しないよう排水口までつなぎます。



枕地作溝



落水口へつなぐ

4 麦踏み・土入れ

●麦踏み

麦3葉期から2月下旬頃の節間伸長開始期までに3~5回程度実施します。麦踏みは、麦の分げつ促進と倒伏防止の効果がありますが、ほ場が湿っていると、土壌を締めつけて、生育を抑制することがあるため、土壌が十分乾燥した状態で行います。

●土入れ

1月上中旬頃から3月上旬にかけて2~3回程度実施します。土入れは無効分げつの抑制や雑草抑制、排水対策などの効果があり、追肥後に行うと、肥効が安定します。麦踏み同様、土入れも土壌が乾燥した状態で行います。

なお、土入れは麦の生育に応じて土の量を増やし、麦踏み前に実施します。また、麦踏み直後は避け、麦が土に埋もれないようにします。

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル（農薬基準）を確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！

「JA柳川メール配信会員」登録について

JA柳川では、タイムリーな栽培情報を皆様のスマートフォンや携帯電話へ「メール配信」しています。